

研究区分	学部研究推進
------	--------

研究テーマ	静岡におけるヨーロッパ文化の発見 ―ポスト・コロナ時代の国際関係学の模索―				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・講師	氏名	浅間 哲平
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	高畑 幸
		所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	森 直香
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	森 直香

講演題目	県大×おまちゼミの実施報告
------	---------------

研究の目的、成果及び今後の展望	<p>コロナ禍でヨーロッパに渡航できない間、学生のヨーロッパに対する関心を保ち、そして、発展させようとするのが本研究の目的である。そのために、連続講座「県大×おまちゼミ」を実施した。</p> <p>以下がその詳細である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回「ヨーロッパと Manga」静岡市国際交流員・ポドゥ・フォスティン氏、ファイファー・マティアス、森直香、於 静岡県立大学、2021年5月12日。118名（一般4名、学生・教職員114名）参加。 ・第2回「お菓子和ワインで知るフランス文化」フランス人美食ジャーナリスト・マルチノ・ロベル・ジル氏、小窪千早、Zoom 開催、2021年6月26日。26名（一般15名、学生11名）参加。 ・第3回「歩きながら古いパリを発見する」「著作権や印税などについて―バルザック、フロベール、そして三島由紀夫」東京大学名誉教授・放送大学客員教授・宮下志朗氏、於 静岡県立大学、2021年7月21日。前半38名、後半34名参加。 ・第4回「演劇でヨーロッパと日本をつなぐ」SPAC（静岡県舞台芸術センター）俳優・永井健二氏、京都大学大学院准教授・中筋朋氏、Zoom 開催、2021年10月30日。44名（一般19名、学生25名）参加。 ・第5回「フランス海外県への誘い」フランス語講師メレザン・シリル氏、於 静岡県立大学、2021年11月22日。41名（一般14名、学生27名）参加。 ・第6回「印象を探る」静岡市美術館学芸員・深尾茅奈美氏、浅間哲平、於 静岡市立美術館、2021年12月18日。展覧会「ランス美術館コレクション 風景画のはじまりコロアから印象派へ」（2021年11月20日（土）～2022年1月23日（日） 於 静岡市美術館）との連動企画。56名（一般26名、学生30名）参加。 ・第7回「近代化の出発点静岡：1867年パリ万博とのつながり」宮崎晋生、小窪千早、浅間哲平、於 Bnest（Zoom 中継あり）、2022年1月8日。49名（遠隔30名、対面10名）参加。 <p>成果を WEB サイトで公開した (https://ir.u-shizuoka-ken.ac.jp/omachiseminar/)。また、冊子「ローカルから見るヨーロッパ」を作成した。</p>
-----------------	---